

2025年度 玉川大学教職大学院教育学研究科教職専攻
 専門職学位課程（I期）入学試験問題

科目名	教育小論文	受験番号		氏名	
-----	-------	------	--	----	--

【1】

ウェルビーイング (Well-being) は、well (よい) と being (状態) からなる言葉です。子どもたち一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって幸せで満ち足りた状態になるための教育が求められます。学習指導においてウェルビーイングを実現するためには、授業においてどのような活動が考えられますか。校種や教科等、単元を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【2】

文部科学省によると、2022年度に全国で把握されたいじめの件数は68万件余り、自殺や不登校などの「重大事態」はこのうち923件と過去最多となりました。しかも、この923件の4割近くは「重大事態」になるまで学校がいじめを認知していなかったそうです。

なぜ学校はいじめを認知できなかったのか、学校がいじめを認知できるようにするためにはどのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。

2025年度 玉川大学教職大学院教育学研究科教職専攻
 専門職学位課程（Ⅱ期）入学試験問題

科目名	教育小論文	受験番号		氏名	
-----	--------------	------	--	----	--

【1】

教科等横断的な学びとは、児童生徒が、ある教科等の学びを他の教科等の学びで活用したり関連づけたりすることで、学びが深まったり、活用できることを実感できたりするような学びとされます。どのような学びが考えられますか。校種や教科等、単元を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【2】

“生まれ育った場所や環境などにより、受けることのできる教育に生じる格差”と定義することのできる「教育格差」は、現代におけるもっとも重要な社会問題のひとつであると言われます。

この「教育格差」を生み出す要因は何かを明らかにした上で、学校・教員による「教育格差」への効果的な対策を理由とともに、できるだけ具体的に示しなさい。